

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区（地区内集落名）	作成年月日	更新年月日
八王子市	八王子地区（石川町）	令和4年3月30日	—

### 1 対象地区の現状

①地区内の耕作面積	23.33ha
②アンケート調査に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の面積の合計	14.56ha
③地区内における75才以上の農業者の耕地面積の合計	6.79ha
i うち後継者未定の農業者の耕地面積の合計	1.81ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	—
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.42ha
（備考）	

### 2 対象地区の課題

地区の農業者世帯は、家族経営が多く、雇用などにより大規模に農業経営を行う世帯は少ない。アンケート結果において、約6割が後継者ありと回答している一方で、農業後継者不足や担い手の高齢化を実感している農業者も多い。

地区の立地的な特性としては、市場や道の駅などへのアクセスが良く、昔から畑作が中心に行われている。一方で、市街化区域であり、周辺環境や立地の特性などから生活環境としても良好な地区であるため、売却や転用などの可能性を持つ農地も存在する地区であるとも言える。

現状の地区内農地においては、接道が無い農地や狭小の農地が点在するなど、条件不利な農地も少なくない。

今後、地区内の担い手不足や高齢化が進む中で、地区内の農業後継者や新規就農希望者等に貸したい、貸し出していかがるを得ない、などと考える農業者等も存在するが、農地の貸借制度の認知不足などもあり、貸借に不安を持つ者も少なくない。

### 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

対象地区内の農地は、中心経営体を中心に集約化を図っていく。また、地区内では八王子市農地バンク制度において生産緑地が貸し付けの対象地になっていることや農地貸借に関わる制度を認識・理解していない農業者等も存在するため、行政やJAを中心に積極的に周知を図っていく。

なお、地区内の中心経営体だけでなく、地区外で生産規模拡大を希望する経営体や東京農業アカデミー八王子研修農場にも近接する地区であることから、新規就農希望者等に対して、市・農業委員会やJA、農地中間管理機構が連携し、受入調整を積極的に行うとともに、受入後の地区農業者のサポートやJAにおける制度の周知、指導農業者との連携なども併せて行っていく。